

比企城館跡群小倉城跡調査指導委員会 会議録

会議の名称	令和3年度第1回比企城館跡群小倉城跡調査指導委員会
主な議題	(1)事前の調査範囲等の確認
開催日時	令和3年9月24日 午後1時30分～午後4時00分
開催場所	国指定史跡小倉城跡
会議録の公開 (非公開・一部 非公開)とその 理由	全部公開
出席委員	梅沢太久夫委員、落合義明委員、宮田毅委員、田中信委員
事務局	大野健司生涯学習課長、田中和浩生涯学習課主幹
オブザーバー	元ときがわ町教育委員会生涯学習課長（文化財担当） 石川安司
<p>【審議等内容又は概要】</p> <p>1 開会 田中主幹</p> <p>2 あいさつ 梅沢委員長 大野課長</p> <p>3 議題 (1)事前の調査範囲等の確認</p> <p>本会の開催にあたっては現地での確認事項のため、委員長の判断により元ときがわ町教育委員会生涯学習課長の石川さんに説明及び意見を述べて頂くこととしたため、比企城館跡群小倉城跡調査指導委員会規則第11条の規定に基づきオブザーバー出席を承知いただく。</p> <p>内容について、事務局より資料に基づき説明を行う。</p> <p>【意見・課題等の指導事項】</p> <p>①桁形虎口について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅40cmの十字ベルトを設定し、その他を全面掘削する。ベルトは永久的に残す。 ・虎口の門の部分は、崩落石材とオリジナル石材が遺存する南からピンポールなどで壁面と下場を確認しつつ、北へ掘削を進めていくこと。 	

- ・調査期間中は、通行止めの措置が必要である。
- ・埋戻し前に見学会を開催すること。コロナ禍の状況を踏まえて調整する。
- ・残土は、立入禁止区域の平場に置く。

②郭1について

- ・平成16年調査の建物跡のトレンチを起点に、トレンチを設定すること。
- ・建物跡は、1/100 図面又は測量業者にて位置を特定すること。
- ・トレンチ幅は約4mで、掘削深度は30cmで行う。
- ・トレンチの横断部分は、南東側に被災面があり焼けた遺物等があると思われる。
- ・石垣等に注意して平場の両端まで掘削すること。

(2)その他

- ・トレンチの設定する際には、1級基準点や国土調査の座標を用いること。
- ・掘削状況は、各委員へ写真等で状況提供すること。
- ・柵形虎口の調査は時間がかかるので、柵形虎口を先に調査し、郭1は次年度に実施してもいいかもしれない。

<p>その他審議会等の長が必要と認められた事項</p>	<p>配布資料（PDF形式）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・現地用図面 ・【資料】史跡現状変更等許可申請書（抜粋）
-----------------------------	---